

アジア太平洋都市サミット ニュースレター No.26 2014年6月号

目次

- I バンコクで第10回実務者会議(12月17日~18日)開催予定 1
- II 大連中日韓循環経済モデル基地プロジェクト
大連市からの寄稿 2
- III 福岡県北九州市とベトナム・ハイフォン市が姉妹都市協定を締結しました
北九州市からの寄稿 4

I バンコクで第10回実務者会議(12月17日~18日)開催予定

* 日程が変更になりました

アジア太平洋都市サミットは原則として2年に1回市長会議を開催し、市長会議のない年は実務者会議を開催しています。

2014年は、第10回目となる実務者会議をバンコクで開催予定です。最近の政治情勢を受けて、日程が変更になりました。テーマは、「バランスのとれた暮らしと持続可能な生活」。発表を行う都市は、次の2つから発表テーマを選びます。



①高齢化社会

(高齢化社会に調和するために貴市が準備中あるいは実施している高齢者向けの施策について)

②公共資源へのアクセスとその公平な分配

(貴市では公共資源やサービスを市民にどのように分配していますか。すべての人に対する資源、技能、機会の効率的な活用とはどのようなものでしょう。)

会議の詳細は、開催都市のバンコクより、会員都市へ後日ご案内予定です。高齢者が暮らしやすい都市を目指すバンコクについて、今号では概要をご紹介します。

バンコク都の概要

バンコクは多種多様な芸術、文化、伝統、建築、ライフスタイル、料理を誇る都市である。これらの特質は何世紀にもわたり蓄積され、非常に魅力的な形でタイの首都であるバンコクを形成してきた。バンコクはこれまで2008年、2010年、2011年の3度にわたり、旅行ガイド雑誌「トラベル・レジャー・マガジン(Travel & Leisure Magazine)」の読者投票で「世界最高の都市(World's Best City)」に選ばれた。

人口	5,686,252人 (2013年12月)	世帯数	2,593,827 (2013年12月)
男性	2,694,921人	面積	1,568.74 km ²
女性	2,991,331人	人口密度	3,625人/km ² (2013年12月)
バンコク都職員数	89,737人 (2014年1月)		

会議テーマに関する施策の概要

高齢化社会：

バンコク都では増加を続ける高齢者に対応すべく、すでに計画を策定している。人口登録によると、バンコク都の人口は500万人以上だが、そのうち70万人以上は高齢者である。そこで、都は介護だけでなく、年間を通じた各種の活動など、様々な方法で高齢者施策に取り組むことを職員に奨励している。例えば、バンコク都保健局では、質の高いサービス、平等なアクセス、健康促進と治療、高齢者のリハビリに重点的に取り組む医療・保健センターを設置し、活動している。

公共資源へのアクセスとその公平な分配：

不平等は憂慮すべき問題となっており、機会へのアクセスの格差を生み出している。バンコク都は雇用機会の不平等をなくすため、社会開発を重視した計画を立てている。都は多くの社会開発センターを設立し、社会における人々の公平なアクセスを向上させている。すべての人の機会を高める方法として、雇用機会の拡大のため、失業者がより多くの仕事に応募できるように職業訓練を実施したり、受刑者が出所後に職に就けるようにアドバイスや訓練を提供している。



Ⅱ 低炭素社会の推進によるアジア太平洋地域の発展と産業による都市の発展を後押しする——大連中日韓循環経済モデル基地プロジェクト

★ 会員都市（大連市）からの寄稿 ★

世界経済の枠組みが大きく変化し、各国が経済危機や環境の変化に対応を迫られる中、我が国の首脳は2009年に第2回中日韓サミットにおいて、中日韓循環経済モデル基地の設立を提議した。その主な目的は、日本や韓国などの循環経済における成功体験を学び、日本、韓国の資金と技術を導入することにより、我が国の循環経済の発展を促し、穏やかな成長、調和のとれた構造、イノベーションを実現させ、地域の経済、社会、環境の持続的な発展をリードすることである。2013年5月、日本と韓国の関係機関および中国国家発展改革委員会、外交部、財政部による合同初回審議を経て、「大連循環産業経済区」は中日韓循環経済モデル基地の建設準備に取り組む3つの産業パークの一つに認定された。



大連は中国東北地域の最南端に位置し、総面積は12,573.85平方キロメートル、人口は698.45万人である。都市の全体的な発展レベルは東北地域ではトップを誇り、沿海都市の中でも上位にある。北東アジアにおいて、大連は国際水上運輸と国際物流の重要拠点であり、中国東北地区の金融センターでもある。また、良好な環境インフラを持つ大連は、英国誌『エコノミスト』で中国10大低炭素都市のうち1位と評されている。科学、教育、文化、スポーツ事業も盛んで、22の大学と、200か所以上の各種科学研究開発機関があり、毎年多くのハイレベルな人材を輩出し、科学技術面での成果を上げている。

「大連循環産業経済区」は遼寧省沿海経済ベルトの開発開放国家戦略に基づいた重要発展エリアであり、国、遼寧省、大連市による優遇政策が採られている。経済区にある大連国家生態工業モデル園區（大連エコタウン）はすでに国家「都市鉱産」モデル基地、静脈産業と再利用可能な廃棄物を輸入する「圏区管理*」モデル園區、東北振興国家戦略モデルプロジェクトとして発展している。

「大連循環産業経済区」は黄海の北部沿岸、遼寧省大連の庄河市にあり、大連の市街地から車で1時間である。「大連循環産業経済区」の計画面積は97.8平方キロメートルで、中日韓循環経済モデル基地の産業計画に基づき、産業間の連携と融合を重視し、「循環型社会」の特色を際立たせ、3つの産業を共に発展させる循環経済モデル地区を形成している。

経済区は機能別に10のエリアに分かれており、そのうち静脈産業エリア、動脈産業エリア、化学工業化学繊維新素材エリアで構成される工業ブロックでは、資源の再利用と木材家具、装備製造業、海上風力発電、新素材、化学工業化学繊維などの新興産業の発展に力を入れる。循環型農業エリア、循環型漁業エリア、港湾と都市一体型の漁港サービスエリアで構成される農業ブロックでは、エコロジーと有機農業、工場型養殖業のほか、多機能が集合し、都市と港湾が一体化した漁港サービス業の発展に重点を置く。教育開発モデルエリア、循環型サービス機能エリア、大鄭低炭素型都市モデルエリア、保税港区で構成されるサービス業ブロックでは、スマートシティをコンセプトに、教育、研究開発、レジャー、健康など新しいサービス業を発展させる。

「大連循環産業経済区」は、中日韓循環経済モデル基地であると同時に、世界でも一流の循環経済区となること、中国北部で最も競争力のある国家「都市鉱産」モデル基地となること、アジア太平洋地区で持続可能な国際共同モデル地区となることを設立目標としている。

* 圏区管理

再生資源の処理効率を高め、汚水や廃棄物が環境に与える影響を減少させるため定められた特定地区
(事務局注)

Ⅲ 「福岡県北九州市とベトナム・ハイフォン市が姉妹都市協定を締結しました」

★ 会員都市（北九州市）からの寄稿 ★

本年4月18日、北九州市はベトナム・ハイフォン市と姉妹都市協定を締結しました。

北九州市における姉妹・友好都市提携としては、1988年（昭和63年）の韓国・仁川広域市以来26年ぶりで、ハイフォン市は第5番目の姉妹都市となりました。



締結式



記念祝賀会

北九州市とハイフォン市は、2009年（平成21年）に「友好・協力協定」を締結し、それ以後、水道分野において、本市の「高度浄水処理技術」をハイフォン市に導入したり、ハイフォン市最大のイベント「ホン河祭り」に若松五平太ばやし愛好会「響」が参加するなど、様々な分野での交流・協力事業に取り組んでまいりました。



浄水処理技術研修

この協定が本年4月に5年間の期限を迎えたことから、これらの交流成果を踏まえ両市で協議を行った結果、姉妹都市へと両市の関係を発展させることとなりました。

締結式は、ハイフォン市長を代表とする代表団16名を迎えて北九州市で行われ、ブイ・クオック・ティン在福岡ベトナム総領事の立会いの下、本市の北橋健治市長と、ハイフォン市のズオン・アイン・ディエン市長が協定書に署名しました。

今回の姉妹都市協定締結により、両市の交流の多様化や、両市にとってメリットのある交流が一層進むことが期待されています。

これらの交流により、都市環境インフラビジネスの推進や、両市の中小企業間のビジネス交流の一層の拡大など、アジアの活力を取り込んだ本市の経済成長につながるのと同時に、ハイフォン市のインフラ整備や都市環境の改善に貢献することができればと考えています。



若松五平太ばやし
愛好会「響」
(ホン河祭り)

北九州市の姉妹・友好都市

- 米国・タコマ市（1959年（昭和34年）6月提携）
- 米国・ノーフォーク市（1959年（昭和34年）7月提携）
- 中国・大連市（1979年（昭和54年）5月提携）
- 韓国・仁川広域市（1988年（昭和63年）12月提携）
- ベトナム・ハイフォン市（2014年（平成26年）4月提携）



★会員都市の担当者の皆様： 寄稿をお待ちしています。

貴市のトピックスや新規事業、都市問題の解決のヒントとなるような貴市における課題解決の取組みなど、お気軽に情報をお寄せください。

(ニューズレターは、アジア太平洋都市サミットのウェブサイトに掲載し、会員都市などへ email 送信しております。)

今後のアジア太平洋都市サミットの会議予定

開催時期	会議名, テーマ	開催都市
2014 年 12 月 17 日～18 日 (予定)	第 10 回実務者会議 テーマ: バランスのとれた暮らしと持続可能な生活(予定) *日程が変更になりました	バンコク都 (タイ王国)
2015 年 (予定)	第 12 回市長会議 テーマ: 都市における青少年への施策(予定)	ウラジオストク市 (ロシア連邦)

アジア太平洋都市サミット：Asian-Pacific City Summit は、アジア太平洋地域の都市問題の解決に向け、市長会議や実務者による会議等を通じて、都市の連携やネットワークの構築を図っています。

アジア太平洋都市サミット会員都市 13 カ国 30 都市

オークランド市(ニュージーランド)	鹿児島市(日本国)
バンコク都(タイ王国)	北九州市(日本国)
ブリスベン市(オーストラリア連邦)	クアラルンプール市(マレーシア)
釜山広域市(大韓民国)	熊本市(日本国)
長沙市(中華人民共和国)	マニラ市(フィリピン共和国)
大連市(中華人民共和国)	宮崎市(日本国)
福岡市(日本国)	長崎市(日本国)
広州市(中華人民共和国)	那覇市(日本国)
光陽市(大韓民国)	大分市(日本国)
ホーチミン市(ベトナム社会主義共和国)	浦項市(大韓民国)
香港特別行政区(中華人民共和国)	佐賀市(日本国)
ホノルル市(アメリカ合衆国)	上海市(中華人民共和国)
イポー市(マレーシア)	シンガポール(シンガポール共和国)
ジャカルタ特別市(インドネシア共和国)	ウルムチ市(中華人民共和国)
済州特別自治道(大韓民国)	ウラジオストク市(ロシア連邦)

【編集・発行】2014 年 6 月 5 日 アジア太平洋都市サミット事務局（福岡市総務企画局国際部）

〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1 TEL: 092-711-4028 FAX: 092-733-5597

E-mail: apcs@city.fukuoka.lg.jp Website: <http://apcs.city.fukuoka.lg.jp/>